

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

事業概要

1 地域福祉活動推進部門

(1) 福祉教育・啓発活動

長引く新型コロナウイルスの感染拡大で、実施予定日が緊急事態宣言期間中になったこと等により、よこいと運動会や福祉まつり等の密を避けられないイベントは昨年度に続き中止したが、地域福祉セミナーはコロナ対策を徹底して実施した。社協だよりは、第190号から音訳サークル「さざなみ会」のご協力を得て音訳版を作成。市が作成している市報「声の広報」と同じ媒体に録音し、市内の希望者へ郵送していただいた。学校の福祉教育の支援では、小学校への協力、大和青藍高校への講演、キャリア教育への協力、福祉カレンダーの配布を行った。

① 広報・啓発紙の発行等

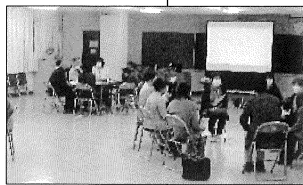
種 類	実施日	人数等	内 容
社 協 だ よ り	6、9、12、3月	—	第190～193号 市内全戸配布
点字版・墨字版 社 協 だ よ り		100部	点訳サークル「きつつき」に作成を委託し、市内の希望者に配付した。
ホームページの運営	通 年	4,229回	事業・サービス案内、各種情報等を掲載した。 延べアクセス数：4,843回 閲覧ページ数：20,502回



② 福祉教育

種 類	実施日	人数等	内 容
地域福祉セミナー	10月2日(土)	54名	「共に笑って 共に生きる ～若年性認知症～」 講師：福岡県認知症介護指導者、株式会社パーソン・サポート絆 代表取締役 川島 豊輝 氏 若年性認知症の人と家族の会「ローズ・マリー」会長 岡山 和行 氏 ※福祉人材バンクと共催で実施
	12月4日(土)	66名	「今を大切に生きる ～若年性認知症～」 講師：福岡県認知症介護指導者、若年性認知症本人や家族のサロン「さろ～んパス」開催者 中村 益子 氏 若年性認知症当事者と家族（「さろ～んパス会員」）上田 光男 氏、三角 節子 氏 三角 俊一 氏

	3月26日(土)	32名	「若年性認知症当事者と家族のつどい」 講師：福岡県認知症介護指導者、若年性認知症本人や 家族のサロン「さろへんパス」開催者 中村 益子 氏 ※福祉人材バンクと共催で実施
--	----------	-----	--



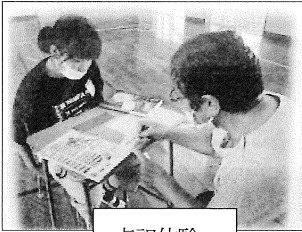
③ 社会啓発行動

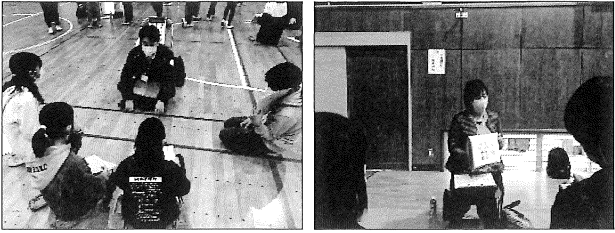
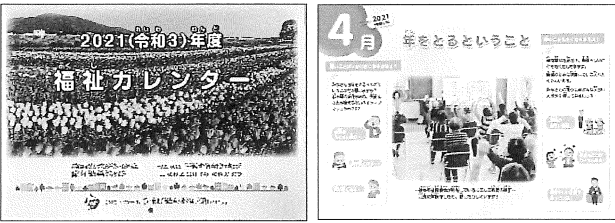
事業名等	実施(予定)日	人数等	内 容
よこいと運動会	6月6日(日)	—	左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため中止
福祉まつり	10月24日(日)	—	左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため中止
日曜出合いの広場 「もちつき会」	12月19日(日)	—	左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため中止

④ 実習生・視察研修等の受け入れ

学校名等	期 間	人数等	内 容
麻生医療福祉 専門学校福岡校	5/10～6/11	1名	社会福祉士養成課程 相談援助実習(24日間)
フチガミ医療福祉 専門学校	6/21～7/21	1名	社会福祉士養成課程 相談援助実習(24日間)
福岡県立大学	8/7～9/28	2名	社会福祉士養成課程 相談援助実習(24日間)
九州保健福祉大学	10/18～11/19	1名	社会福祉士養成課程 相談援助実習(24日間)

⑤ 学校の福祉教育の支援

学校名等	実施日	人数等	内 容
市内小学校の実施 する総合的な学習 の時間への協力	6月21日(月)	下境小4年	当事者やボランティア団体と学校のコーディネートを行った。また、当日は学校を訪問し、授業のサポートを行った。  点訳体験  手話体験
	10月19日(火) 11月8日(月)	上頓野小4年	当事者やボランティア団体と学校のコーディネートを行った。また、当日は学校を訪問し、授業のサポートを行った。
	11月29日(月)	新入小4年	当事者やボランティア団体と学校のコーディネートを行った。
学校法人 大和学園 大和青藍高等学校での講演	8月2日(月)	42名	対象者：看護科1年生 テーマ：福祉とボランティアについて

キャリア教育『夢授業』への参加	11月10日(水) 11月24日(水)	植木中1・2年 感田小6年	各分野の職業人を学校へ派遣し、子どもたちと「どんな職種」や「働くということの意義」について語り合う場をつくる『夢授業』に参加した。 
福祉カレンダー 寄贈	4月	市内小学校11校 特別支援学校1校	福祉教育の推進を図ることを目的に作成した福祉カレンダーを、市内小学4年生に配布した。 

(2) 小地域福祉活動の支援

長引く新型コロナウイルスの影響で、住民活動の自粛が続いた。

事業名	実施日	人数等	内 容
校区社協活動への助成	—	—	西・南・新入・下境・感田の5校区社協に活動費を助成した。うち1社協は新型コロナウイルス対策で事業が中止になったため助成を辞退した。
校区社協会長会議	5月14日(金)	5名	社会福祉協議会理事の任期満了による改選に伴う新理事候補者の調整や意見交換を行った。

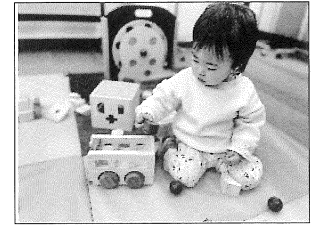
(3) 福祉ボランティア活動の支援

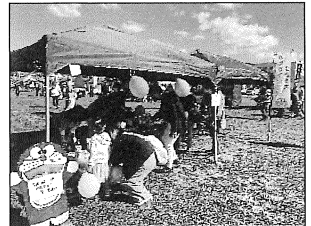
ボランティアルームは、机の消毒や換気を十分に行って提供した。

事業名	実施日	人数等	内 容
ボランティアルームの提供	通 年	延べ 509名	提供件数：116件 
ボランティア活動の登録・斡旋	通 年	—	相談件数：9件 個人登録数：32名 団体登録数：22団体
第46回直方市ボランティアのつどい	—	—	講師の都合により急遽中止となった。
ボランティア活動保険料の助成	通 年	延べ 172名	年間保険料一人あたり、100円を助成した。
活動資材の整備・貸出	通 年	6件	かき氷機1台、白杖14本、アイマスク10枚、ポータブルスピーカー1台
直方市ボランティア連絡協議会の支援	通 年	—	定例会での情報提供や同協議会主催行事に関する連絡調整等を行った。

(4) おもちゃ図書館の運営

新型コロナウイルス対策のため、昨年度に引き続きおもちゃの貸し出しのみで開館。7月、12月には、季節に合わせた行事を開催した。11月は、チャリティイベントへの出張開館を実施、事業のPRも行った。



業務名	実施日	人数等	内 容
通常開館 (毎 週 土 曜 日)	通年計 37 日	75 名	1 8/14～9/25・1/22～3/5 は新型コロナウイルス対策のため休館 2 行事の開催 7月—七夕 (来館者へ短冊を書いてもらう) 12月—クリスマス (来館者へミニプレゼントを渡した)
出張開館	11月7日(日)	—	河川敷で実施されたチャリティイベントに参加。 
おもちゃの貸し出し	通年	47 点	1 日 平均 : 約 1.3 点

(5) 当事者組織・団体、社会福祉関係諸団体との連携と支援

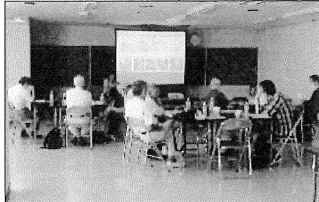
長引く新型コロナウイルスの影響で、活動を自粛し、助成を辞退する団体があった。

事業名	実施日	人数等	内 容
事業に対する助成	—	11 団体	共同募金B枠配分金を活用
ふくしバスの運行	通 年	—	申し込みが無かった。
障がい者問題を考える直方市連絡会議への協力	通 年	—	定例の常任委員会での情報提供や当団体主催事業に関する連絡調整等を行った。

(6) 地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた取り組み

ひきこもり防止支援事業では、研修会を開催した。

① 男性介護者のつどい (共催：認知症の人と家族の会直方)

業務名	実施日	人数等	内 容
第 21 回	10月9日(土) 	20 名	男性介護者のつどい&ミニ講話 「認知症になっても大丈夫」 講師：男性介護者と支援者のつどい全国ネットワーク九州ブロック世話人 下島 康則 氏
第 22 回	12月19日(日) 	15 名	男性介護者のつどいとして、参加者同士の交流会を行った。

② ひきこもり防止支援事業

業務名	実施日	人数等	内 容
不登校・ひきこもり 学 習 会	7 月 17 日(土)	25 名	「ひとりではないと気づいて」 〈講師〉福岡県立大学 教授 小嶋 秀幹 氏 
ひきこもり相談	通 年	7 名	電話相談：5 件 来所相談：2 件
「居場所運営協 議会」の支援	通 年	各日 8～15 名	運営協議会での情報提供等を行った。

③ 空き家管理事業

業務名	実施(予定)日	人数等	内 容
空き家管理事業	通 年	—	嘉麻市への視察を行った。コロナ禍で、特例貸付の対応を優先したため、関係団体への協力お願い等を行うことができなかった。

④ 各種寄贈物品の配分

業務名	実施(予定)日	人数等	内 容
各種寄贈物品の配分	通 年	—	社会福祉法人豊徳会、名糖産業株式会社、株式会社セブン-イレブン・ジャパン様から寄せられた寄贈物品を、生活困窮者や市内子ども食堂、生活困窮者緊急支援事業参加法人等に配分した。

2 相談支援・権利擁護部門

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協事業の一部受託）

新型コロナウイルス感染症の拡大によって収入が減少している世帯に対する生活福祉資金特例貸付は令和2年4月から始まり、当初同年7月までの受付期間だったものが、9回の延長を繰り返して現在に至っている。令和3年度だけでも相談件数は延べ2,400件を超えたが、この生活福祉資金はいわゆる「福祉の貸付」であり、市役所の生活困窮者自立支援担当課との連携のもと、3人の担当職員が相談者に寄り添った丁寧な相談援助を行った。時には相談室以外の部屋も利用し、事務局全体で対応に当たった。

また、新型コロナウイルス感染により、自宅待機しなければならず他に買い物の支援を受けることができない陽性者に対して、買い物支援を行った。

業務名	実施日	人数等	内 容
相 談 (通常貸付)	通 年	117 件	生活費 87 件、生活必需品費 7 件、教育費 15 件、医療費 2 件、技能習得費 3 件、他 3 件
貸 付 (通常貸付)	通 年	27 件	決定額合計 27 件 3,763,562 円 教育支援資金 6 件 2,197,000 円 緊急小口資金 21 件 1,566,562 円
償 還 (通常貸付)	通 年	—	元金 6,668,877 円 貸付利子 46,534 円 延滞利子 151,392 円
相 談 (コロナ特例貸付)	通 年	延べ 2,408 件	緊急小口資金、総合支援資金など繰り返し相談対応を行った。

申 込 (コロナ特例貸付)	通 年	529 件	緊急小口資金 209 件、 総合支援資金 136 件、総合支援資金延長 56 件、 総合支援資金再貸付 125 件、 総合支援資金延長再申込 3 件 延べ貸付金額は、5 億円超となった。
------------------	-----	-------	---

(2) 生活困窮者緊急支援事業

業務名	実施日	人数等	内 容
生活困窮者緊急 支援資金(貸付)	通 年	18 件	生活保護費給付までのつなぎ 10 件 78,000 円 生活福祉資金貸付までのつなぎ 8 件 65,000 円 その他 0 件 0 円 合計 18 件 143,000 円
同 (償還)	通 年	15 件	115,000 円
食 の 支 援	通 年	16 件	㈱ランチサービス、(有)景光園の協力、食料の寄 付、購入により、24 人(16 世帯)に対して、延べ 170 日分の支援を行った。
新型コロナウイルス 感染者への買い 物支援	令和 4 年 3 月 ～	6 件	新型コロナウイルス感染により自宅待機をしなけ ればならず、食料や日用品が不足している世帯に 対して、買い物代行の支援を行った。

(3) 認知症相談 (協力：認知症の人と家族の会直方)

事業名	実施日	人数等	内 容
認 知 症 相 談	第 4 水曜日	85 件	訪問：7 件、面接：6 件、電話：70 件、メール：2 件

(4) 福祉総合相談

福 祉 総 合 相 談	通 年	39 件	家族 4 件 、健康・医療 4 件 、法律 3 件 、 福祉・教育 15 件 、ボランティア 5 件 、暮ら し・住まい 8 件
-------------	-----	------	--

(5) 日常生活自立支援事業 (県社協からの受託)

11 名の利用者の金銭管理を行い、利用者の生活支援を行うことが出来た。

業務名	実施日	人数等	内 容
相 談	通 年	延べ 427 件	認知症高齢者 211 件 知的障害者 89 件 精神障害者 127 件
支援計画の作成	通 年	11 名	述べ 11 名 (新規利用者 2 名)
生活支援員業務 (金銭管理サービス)	通 年	11 名	延べ利用件数：173 件

(6) 直方市地域子ども支援 (未就園児訪問事業) 検証業務 (直方市からの受託)

直方市地域子ども支援 (未就園児訪問事業) 検証業務では、実情に応じた子ども支援のあり方を検討する為、家庭訪問による実態把握や保育士へのソーシャルワークに関する情報提供を行い、子ども支援についての課題要因や背景を検証した。保育士への研修 (Zoom) 後のアンケートでは「調査に基づいた結果等を講師にわかりやすく教えてもらえてよかった」等の感想をいただいた。

業務名	実施日	人数等	内 容
直方市地域子ども支援（未就園児訪問事業）検証業務（市委託事業）	1月～2月	—	直方市が未就園児のいる家庭の実態を把握するために実施した「絵本配付事業」に関する家庭訪問
	2月8日（火）	保育園 12ヶ所	保育ソーシャルワーク研修（Zoom） 「保育ソーシャルワークとは？～子どもの睡眠から見えてくる大切なこと～」 〈講師〉 筑紫女学園大学 准教授 大西 良氏 〈対象〉 直方市保育協会 主任会

3 介護・生活支援サービス部門

（1）移動送迎支援事業

延べ人数はコロナ前ほどではないものの、事業用の車両を1台追加したことで予約の重なりやすい平日の予約が取れやすくなったと利用者に喜んでいただいた。



業務名	実施日	人数等	内 容
移送サービス	通 年	延べ 172名	登録者数：45名 利用件数：333件

（2）配食サービス事業（直方市からの受託）

在宅の要援護高齢者に対し、栄養バランスの取れた食事を提供することにより健康維持を図るとともに、利用者の安否を確認することができた。新型コロナウイルス感染拡大を受け、ステイホームする人が増加し、それに伴い配食サービス新規利用者が増加した。

事業名	実施日	人数等	内 容
直方市配食サービス事業（市委託事業）	月～土曜日	月平均利用者数 234名 延べ配食数 50,896食 延べ 不在対応数 69件	夕食（弁当）を週6回（月～土）の範囲で宅配 調理及び配達：㈱ランチサービス （有）景光園 <u>不在対応事例</u> 16時50分に配食業者より不在の連絡。玄関に鍵がかかっており、電話しても出てこないとの事。緊急連絡先（長女）とは連絡がついたが、本人の安否が確認できなかった。17時40分に社協職員が本人宅を訪問。庭側の窓が開いていたので、室内を確認したところ、真っ暗なりビングで床に倒れている本人を発見。意識はあるものの、体も起こせず手足が震えており、発語はできずにうなずく等のコミュニケーションも取れない状況だったため、17時45分に119番通報し救急車を要請。本人は飯塚病院に緊急搬送されたため、長女に状況を報告。また、配食業者に連絡し、当日分の緊急キャンセル及び翌日からの配食停止の連絡をする。（18時20分終了）

(3) 車いすの貸し出し

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、通常の外出での貸し出しは減少したが、ワクチン接種などによる貸し出しが増えた。

事業名	実施日	人数等	内 容
車いすの貸し出し	通 年	延べ60回 延べ74台	—

(4) 介護サービス事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者だけでなく従業者にも感染者が発生したが、感染防止に努め、感染拡大することなく事業を継続することができた。令和4年度から義務化される障害者の虐待防止に関すること及び身体拘束等の適正化に関することについては、準備を整えることができた。直方市の受託事業は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染の影響により、移動支援事業と要介護認定調査事業のどちらの事業も依頼数が減ったが、依頼があったものについては、感染対策を徹底しながら実施することができた。感染対策をしながらも適切なサービス提供ができるよう、年度当初に研修を行ったことを始めとして、虐待防止、接遇等の研修の他、利用者のサービスに直接関わる研修だけでなく、交通安全教育として「危険予知トレーニング」を行い、広い意味でも人材育成に努めた。

また、内部研修（虐待防止、接遇、感染症対策等）に加え、外部研修として技術向上研修（同行援護従業者養成研修、技術向上研修）を受講し、新たなケアについて学ぶことに加え、介護技術について振り返ることで、サービスの質を向上させるように努めた。

① 居宅介護等事業

事業名	実施日	人数等	内 容
ケ ア プ ラ ン サ ー ビ ス	通 年	延べ 343 名	居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう居宅サービス計画を作成し、居宅サービス事業者との連絡調整を行った。
ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス (介 護 保 険)	通 年	延べ 214 名	要介護1～5の被保険者に対して、訪問介護サービスを行った。 
		延べ 217 名	総合事業として、要支援1、2及び事業対象者の被保険者に対して、訪問型サービスを行った。
ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス (障害者総合支援法)	通 年	延べ 193 名	在宅障害者の生活援助のため居宅介護サービス等を行った。

② 直方市受託事業

事業名	実施日	人数等	内 容
移 動 支 援 事 業 (ガイドヘルプ)	通 年	延べ 13 名	ガイドヘルパーを派遣し、在宅障害者の移動支援を行った。
要 介 護 認 定 調 査 事 業	通 年	延べ 137 名	要介護認定の更新を申請した被保険者のうち、委託のあった分に対して要介護認定調査を行った。

③ ホームヘルプサービス研修の実施

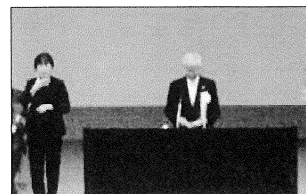
業務名	実施日	人数等	内 容
介 護 事 業 所 従 事 者 研 修	4月16日(金)	9 名	1 感染予防について 2 サービス内容の見直し

	10月21日(木)	1名	令和3年度福岡県介護職員技術向上研修 ～技術向上研修Ⅱ～ 1 認知症ケアについて 2 虐待防止、身体拘束廃止と尊厳を守るケア 3 移乗介助の方法と実践 4 安全対策・事故時・緊急時の対応 場所：のがみプレジデントホテル
	10月22日(金)	8名	1 安全運転について 2 サービス内容の見直し
	11月19日(金)	9名	1 高齢者虐待について 2 サービス内容の見直し
	12月24日(金)	7名	1 接遇の基礎理解について 2 サービス内容の見直し
	2月18日(金)	9名	1 障害者虐待について 2 サービス内容の見直し
	3月11日(金)	11名	1 ヒヤリハットについて 2 マニュアル及びサービス内容の見直し
	3月13日(日) 3月27日(日)	1名	同行援護従業者養成研修 応用過程 1日目：1 障害、疾病の理解② 2 障害者（児）の心理② 3 場面別基本技能 4 場面別応用技能 2日目：1 場面別応用技能 2 交通機関の利用 場所：西日本医療福祉総合センター

(5) 意思疎通支援事業（直方市からの受託）

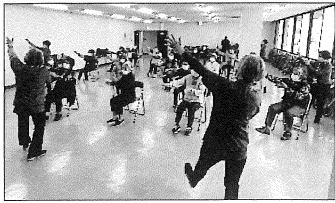
昨年に引き続き、新型コロナウイルス対策を講じた上での事業実施となった。マスクは基本的には不織布マスクを着用するが、状況に応じて透明マスクも活用した。新型コロナウイルスワクチン接種については、予約時に聴覚障害者が困らないような手段について、市役所担当課と協議し、連携して対応した。また、接種時にも通訳として同行した。公用携帯電話をスマートフォンに変更したことで、対面を避けた手話による意思疎通が可能となり、利用者からも好評を得ている。

事業名	実施日	人数等	内 容
手話通訳者派遣	通 年	対象者数 39 名	手話通訳者を派遣し、聴覚障害者と健聴者間の意思疎通支援を行った。 月平均：約 39 件
		延べ 468 件	



(6) にこにこ教室の充実

緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置等を踏まえ、5月中旬から10月初旬までと1月中旬から3月初旬までを休止とした。新型コロナウイルス重症化及び感染のリスクが高い年齢層が多いことから、検温や消毒、換気などをこまめに行い、細心の注意を払いながら教室を開催することが出来た。

事業名	実施(予定)日	人数等	内 容
にこにこ教室	毎週金曜日	延べ462名	健康体操やレクリエーションなど 中央公民館（主に第4学習室）にて教室を開催。検温や消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催 

4 その他

（１）共同募金・歳末たすけあい運動への協力と実施

街頭募金では、フェイスシールドやマウスシールドを装着して実施した。また、五日市の中で大声を出さないよう中央共同募金会が作成した呼びかけＣＤを使っでの呼びかけを行った。

歳末たすけあい募金では、校区福祉活動の助成などを行った。

事業名	実施日	人数等	内 容
赤い羽根街頭募金	10月5日(火)	—	福岡県共同募金会直方市支会が実施する街頭募金に協力した。 
地域住民参加による福祉活動助成	—	8校区	前年度歳末たすけあい募金の一部を原資として、各校区の事業（行事）に対して助成を行った。内3校区は新型コロナウイルスの影響で助成を辞退した。

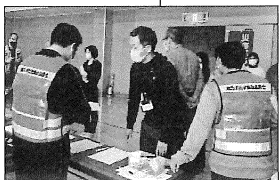
（２）筑豊ブロック市町村社協連絡協議会への参加

新型コロナウイルス対策のため、役員会等は主に書面による決議となった。令和3年度から事務局が田川市から行橋市に変更になった。

事業名	実施日	人数等	内 容
役員会	—	—	新型コロナウイルス対策の為、下記事項について書面決議を行った。（令和3年6月3日署名） 提案事項1 令和2年度事業報告及び決算報告について 提案事項2 令和3年度事業計画・予算案について 提案事項3 令和3年度総会について
総会	—	—	新型コロナウイルス対策のため、書面決議（令和3年6月16日署名）
臨時会議	8月5日(木)	1名	1 今後の筑豊ブロック社協連絡協議会事務局の取り組みについて 2 福祉施設利用者によるソフトバンクホークス野球観戦チケット配付について 3 筑豊ブロック連絡協議会と県社協との連携について
アンケートの実施	—	—	筑豊ブロック社協連絡協議会に係る現状を把握し、今後の方向性を検討する資料として使用することを目的としたアンケートの実施。

(3) 直鞍エリア社協連絡協議会事務局の運営と参画

令和3年5月に開催した理事会をもって、事務局が宮若市に変更になった。福岡県社会福祉協議会が主催する災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。

事業名	実施日	人数等	内 容
理 事 会	—	—	新型コロナウイルス対策の為、下記事項について書面決議を行った。(令和3年6月7日署名) 提案事項1 令和2年度事業報告について 提案事項2 令和2年度決算について 提案事項3 役員改選について 提案事項4 令和3年度事業計画について 提案事項5 令和3年度予算について
事 務 局 長 会 議	10月18日(月)	1名	筑豊ブロック市町村社協連絡協議会について
災害ボランティアセンター設置運営訓練	12月11日(土) 	8名	講義・演習 1 基礎から振り返る災害ボランティアセンターの役割 2 効率的な災害ボランティアセンターの運営～ICTの活用体験～ 3 ニーズの把握とインテークの技法 4 マッチング手法の理解～マッチング班を極める～
担 当 者 会 議	7月28日(水)	1名	1 令和3年度事業計画について 2 直鞍エリア社協共同研修について 3 直鞍地区災害ボランティアセンター研修について
	9月7日(火)	1名	1 直鞍地区災害ボランティアセンター研修について
	10月25日(月)	1名	1 直鞍地区災害ボランティアセンター研修について
	1月18日(火)	1名	1 直鞍地区災害ボランティアセンター研修について 2 直鞍エリア社協共同研修について

(4) 行政施策への参加・参画

事業名	実施日	人数等	内 容
直方市障がい者施策推進協議会	2月 (書面協議)	1名	1 パブリックコメントにおける回答案について 2 第5次直方市障がい者福祉基本計画案について
直方市高齢者保健福祉協議会	2月 (書面協議)	1名	第8期計画実績報告及び進捗状況について

5 法人経営部門

(1) 理事会等の運営

理事会、評議員会は、新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中、消毒や体温計測など感染対策を講じながら開催した。評議員会では定時評議員会の終結の時期を見誤ったが、修正のうえ法人手続きを終わらせることができた。また、今回の手続きの瑕疵を繰り返さないために企画運営委員会を開催し、答申書と意見書を受け、社会福祉法人関係法令等を共有できる役職員等研修会の開催や研修会を基にした事務マニュアルの作成など、その結果を事業計画に反映させることとした。財務会計では、四半期ごとの会計処理に関し専門家の指導を受け、適切な会計処理に努めた。役職員研修では、職員の職務や経験年数に応じた研修に参加させることで、充実した研修機会の確保に努めた。

① 正副会長会議

名 称	実施日	出席者	内 容
第 133 回正副会長会議	5 月 26 日(水)	会長 1 名 副会長 2 名	協議事項 1 令和 2 年度事業報告について 2 令和 2 年度収支決算について 3 役員等の一斉改選について 4 第 2 8 5 回理事会の開催について 5 第 5 回評議員選任・解任委員会の開催について 6 第 2 0 7 回評議員会の開催について 7 第 2 8 6 回理事会の開催について 8 福祉まつり開催の可否について
第 134 回正副会長会議	6 月 18 日(金)	会長 1 名 副会長 2 名	報告事項 1 第 2 0 7 回評議員会の結果について 協議事項 1 第 2 8 6 回理事会の開催について 2 第 2 0 8 回評議員会の開催について
第 135 回正副会長会議	7 月 7 日(水)	会長 1 名 副会長 1 名	報告事項 1 決議の省略の方法により開催した第 2 0 7 回評議員会の結果等について 協議事項 1 第 2 8 6 回理事会の開催について 2 第 2 0 7 回評議員会（7 月 3 1 日）の開催について 3 第 2 8 7 回理事会の開催について
第 136 回正副会長会議	1 月 11 日(火)	会長 1 名 副会長 1 名	協議事項 1 第 2 9 0 回理事会の開催について 2 第 2 0 9 回評議員会の開催について その他 1 今後の方向性について 2 地域福祉セミナーについて

第137回正副会長会議	3月3日(木)	会長1名 副会長1名	協議事項 1 第290回理事会の開催について 2 第209回評議員会の開催について その他 1 地域福祉セミナー及び直方市ボランティアのつどいについて 2 福岡県共同募金会直方市支会について
-------------	---------	---------------	--

② 理事会

名 称	実施日	出席者	内 容
第285回理事会	6月2日(水)	理事12名 監事2名	理事全員からの書面による同意の意思表示及び監事全員からの異議がない旨の申し出を得たため、決議を省略した理事会 決議があったものとみなされた事項 1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度収支決算について 3 第5回評議員選任・解任委員会の開催について 4 決議の省略の方法による第207回評議員会の開催について
第286回理事会 (手続きの瑕疵により無効)	6月19日(土)	理事12名 監事2名	審議事項 1 会長及び副会長の選定について 2 評議員選任・解任委員会委員の選任について 3 第208回評議員会の開催について
第286回理事会	7月15日(木)	理事10名 監事1名	報告事項 1 決議の省略の方法により開催した第207回評議員会の結果等について 2 会長の職務執行状況について 審議事項 1 理事候補者の選任について 2 第207回評議員会の招集について
第287回理事会	9月27日(月)	理事11名 監事1名	報告事項 1 理事の辞任について 審議事項 1 理事候補者の選任について 2 企画運営委員会の設置について 3 第208回評議員会の招集について 4 評議員選任・解任委員会委員の選任について
第288回理事会	11月20日(土)	理事12名 監事2名	報告事項 1 企画運営委員会について 審議事項 1 企画運営委員会の継続について 2 会長及び副会長の選定について

第 289 回理事会	12 月 18 日(土)	理事 9 名 監事 1 名	報告事項 1 社会福祉法第 45 条の 9 第 4 項の規定に基づく評議員会の招集についてと古賀章子理事の辞任について 審議事項 1 会長及び副会長の選定について
第 290 回理事会	3 月 18 日(金)	理事 11 名 監事 2 名	報告事項 1 評議員会招集請求の取り下げについて 2 宗廣壽美子評議員の辞任について 3 会長の職務執行状況について 審議事項 1 副会長の選定について 2 経理規程の一部改正について 3 令和 3 年度収支予算の 1 次補正について 4 理事候補者の選任について 5 令和 4 年度役員等賠償責任保険契約について 6 会員規程の制定について 7 令和 4 年度事業計画及び収支予算について 8 第 209 回評議員会の招集について 9 評議員候補者の推薦について 10 第 6 回評議員選任・解任委員会の招集について その他 1 地域福祉セミナーの案内及び直方市ボランティアのつどいの中止について 2 福岡県共同募金会直方市支会について 3 直方市のワクチン接種の現状について

③ 評議員会

名 称	実施日	出席者	内 容
第 207 回評議員会	6 月 19 日(土)	評議員 25 名	評議員全員からの書面による同意の意思表示を得たため、決議を省略した評議員会 決議があったものとみなされた事項 1 令和 2 年度事業報告について 2 令和 2 年度収支決算について 3 田代英次氏を理事に選任する件について 4 上川光明氏を理事に選任する件について 5 安田幸生氏を理事に選任する件について 6 中村愼介氏を理事に選任する件について 7 西嶋敏弘氏を理事に選任する件について 8 古賀章子氏を理事に選任する件について 9 田中壽子氏を理事に選任する件について 10 志鶴隆俊氏を理事に選任する件について 11 吉原和敏氏を理事に選任する件について 12 池田 勇氏を理事に選任する件について 13 古賀 淳氏を理事に選任する件について 14 松田 昇氏を理事に選任する件について

			15 山口愼輔氏を監事に選任する件について 16 吉田幸隆氏を監事に選任する件について
第 208 回評議員会 (手続きの瑕疵により無効)	6 月 30 日(水)	評議員 16 名 会長 1 名 副会長 2 名	報告事項 1 書面による評議員会での役員改選と正副会長選定までの経過について 審議事項 1 一尾泰嗣氏を理事に選任する件について
第 207 回評議員会 (6 月 19 日開催の評議員会が終結していなかったため継続)	7 月 31 日(土)	評議員 16 名 会長 1 名 副会長 2 名 監事 1 名	報告事項 1 手続きの瑕疵により 6 月 19 日開催の理事会及び 6 月 30 日開催の評議員会が無効となったことについて 2 令和 2 年度の事業報告及び収支決算について 審議事項 1 一尾泰嗣氏を理事に選任する件について
第 208 回評議員会	10 月 6 日(水)	評議員 16 名 会長 1 名	審議事項 1 岸田太吉氏を理事に選任する件について 2 企画運営委員会の設置について その他 1 赤い羽根共同募金運動について
第 209 回評議員会	3 月 29 日(火)	評議員 15 名 会長 1 名 副会長 2 名	報告事項 1 企画運営委員会について 2 古賀章子理事の辞任について 3 副会長の選定結果について 4 宗廣壽美子評議員の辞任について 5 新評議員の選任結果について 審議事項 1 令和 3 年度収支予算の 1 次補正について 2 宗廣壽美子氏を理事に選任する件について 3 会員規程の制定について 4 令和 4 年度事業計画及び収支予算について

④ 評議員選任・解任委員会

名 称	実施日	出席者	内 容
第 5 回評議員選任・解任委員会	6 月 9 日(水)	委員 3 名	候補者 25 名を評議員に選任する件について (任期満了に伴う改選)
第 6 回評議員選任・解任委員会	3 月 19 日(土)	委員 3 名	候補者 1 名を評議員に選任する件について

⑤ 監事会

名 称	実施日	出席者	内 容
監 事 会	5 月 18 日(火)	監事 2 名	1 令和 2 年度事業報告について 2 令和 2 年度収支決算について

(2) 委員会

名 称	実施日	出席者	内 容
第1回企画運営委員会	10月15日(金)	委員10名 オブザーバー1名	1 委嘱状交付 2 委員長、副委員長の選出 3 諮問について 4 経過説明・意見交換 5 今後の開催日程について
第2回企画運営委員会	10月22日(金)	委員11名 オブザーバー1名	1 諮問内容に対する意見について
第3回企画運営委員会	10月29日(金)	委員10名	1 答申(案)について 2 意見書の提出について(案)について
歳末たすけあい配分委員会	12月4日(土)	委員4名	1 令和2年度歳末たすけあい募金(次年度事業)の事業変更について 2 令和3年度歳末たすけあい募金配分計画について

(3) 専門家による財務会計の支援

名 称	実施日	出席者	内 容
四半期巡回指導	7月27日(火)	5名	山口税理士事務所から、令和3年度(4月から6月分)の会計処理に関する確認及び指導を受けた。
四半期巡回指導	10月25日(月)	5名	山口税理士事務所から、令和3年度(7月から9月分)の会計処理に関する確認及び指導を受けた。
四半期巡回指導	2月15日(火)	5名	山口税理士事務所から、令和3年度(10月から12月分)の会計処理に関する確認及び指導を受けた。
四半期巡回指導	4月25日(月)	5名	山口税理士事務所から、令和3年度(1月から3月分)の会計処理に関する確認及び指導を受けた。

(4) 役職員研修の実施

研修名	実施日	人数等	内 容
社会福祉施設役職員研修中堅職員研修	6月23日(水) 30日(水)	1名	内容 1日目:「福祉の職場で活かすセルフマネジメント」 ～燃え尽きない自分作りのためのワーク～ 〈講師〉NPO法人ヘルスコーチ・ジャパン 代表理事 最上 輝未子 氏 2日目:「対人援助スキルアップと効果的なコミュニケーション」 〈講師〉九州ルーテル学院大学 臨床心理学科 准教授 西 章男 氏 「人権学習」 〈講師〉福岡県人権・同和対策局講師団 山口 裕之 氏

接遇講習会	10月14日(木)	1名	内容 1:「顧客(利用者)満足度とは」 2:「CSを支える基本マナー」 3:「きく・話す」 4:「来客応対時のマナー」 5:「電話応対」 6:「接遇の向上を推進するために」 《講師》株式会社 インソース 中尾 恵美 氏
第1回職員研修	10月22日(金) 28日(木)	21名	目的:安全運転指導を行うことによる運転技術の向上 内容:危険予知・事故回避トレーニング
社会福祉法人監事 及び会計責任者 研修	1月26日(水)	2名	内容 1:「社会福祉法人制度改革を踏まえた監事の役割と責任」 《講師》株式会社 佐々木総研 代表取締役社長 佐々木 大 氏 2:「監事監査の基本的な考え方と実務の進め方やチェックポイント」 《講師》株式会社 佐々木総研 税務会計コンサルティング部 マネージャ 峯 良輔 氏
業務目標の設定・ 管理・達成研修	3月10日(木) 3月17日(木)	2名	内容:職員のやる気を高め、組織に貢献できる目標の立て方 1:職場の目標設定のポイント 2:目標達成のための計画策定の実務 《講師》アクティブ・サポート・ネットワーク 株式会社 専任講師 エデュテーション・パートナーズ代表 秋満 直人 氏

令和3年度 地域福祉セミナー① 福祉入門教室

共に笑って 共に生きる ～若年性認知症～

人口の高齢化に伴い認知症について取り上げられることが多くなっており、その中でも、悩みを共有しづらい課題として若年性認知症があります。

そこで、3回に分けて若年性認知症について学びます。今回は第1回目となります。第1回・第2回では、講師として、福岡県認知症介護指導者であり、若年性認知症の人と家族の会を立ち上げた経験のある講師と、当事者やその家族をお招きします。第3回では当事者と家族のつどいを計画しています。

若年性認知症の正しい知識を学び、実態を知るために、若年性認知症の特性や体験談等についてご講演いただきます。

第1回・第2回は、どなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

と き

令和3年 10月2日（土）13時～15時

ところ

直方市中央公民館 第3学習室（直方市津田町7-20）

内 容

講演「共に笑って 共に生きる ～若年性認知症～」

対象者

内容に関心のある方（申し込みは裏面へ！）

講 師

○川島豊輝 氏（福岡県認知症介護指導者、
株式会社パーソン・サポート絆 代表取締役）
○岡山和行 氏（若年性認知症の人と家族の会
「ローズ・マリー」会長）

※詳しくは裏面へ

申込み

電話・ファックス・メールなどにてお申し込みください。
定員になり次第締め切りとさせていただきます

定 員

70名

参加費

無料

主 催

社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

共 催

認知症の人と家族の会直方、飯塚市社会福祉協議会

手話通訳あり



赤い羽根共同募金配分事業

令和3年度 地域福祉セミナー②

福祉入門教室

今を大切に生きる

～若年性認知症～

人口の高齢化に伴い認知症について取り上げられることが多くなっており、その中でも、悩みを共有しづらい課題として若年性認知症があります。

そこで、3回に分けて若年性認知症について学びます。今回は第2回目となります。第1回・第2回では、講師として、福岡県認知症介護指導者であり、若年性認知症の人と家族の会を立ち上げた経験のある講師と、当事者やその家族をお招きします。第3回では当事者と家族のつどいを計画しています。

若年性認知症の正しい知識を学び、現状を知るために、若年性認知症の特性や体験談等についてご講演いただきます。

どなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

と き

令和3年 12月4日(土) 14時～16時

ところ

ユメニティのおがた 小ホール(直方市山部364-4)

内 容

講演「今を大切に生きる ～若年性認知症～」

対象者

内容に関心のある方(申し込みは裏面へ!)

講 師

○中村益子 氏(福岡県認知症介護指導者、
若年性認知症本人や家族のサロン
「さろ～んパス」開催者)
○若年性認知症当事者と家族(「さろ～んパス会員」)
※詳しくは裏面へ

申込み

電話・ファックス・メールなどにてお申し込みください。
定員になり次第締め切りとさせていただきます。

定 員

150名

参加費

無料

主 催

社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

共 催

認知症の人と家族の会直方、飯塚市社会福祉協議会

手話通訳あり



赤い羽根共同募金配分事業

令和3年度 地域福祉セミナー③ 福祉入門教室

若年性認知症当事者と 家族のつどい

人口の高齢化に伴い認知症について取り上げられることが多くなっており、その中でも、悩みを共有しづらい課題として若年性認知症があります。

そこで、3回に分けて若年性認知症について学びます。今回は第3回目となります。第1回・第2回では、講師として、福岡県認知症介護指導者であり、若年性認知症の人と家族の会を立ち上げた経験のある講師と、当事者やその家族をお招きします。第3回では当事者と家族のつどいを実施します。

若年性認知症当事者と家族のつどいでは、若年性認知症当事者や家族などが参加し、それぞれ同じ立場の人とお話をします。悩み・不安を表に出せず、孤立した状況の中で抱えていた「病気への向き合い方」や「本人の気持ち」「家族にしか分からない心の有り様」等を共有できる場です。

と き 令和4年 3 月 2 6 日（土） 13時～15時

ところ 直方市中央公民館 第4学習室（直方市津田町7-20）

内 容 若年性認知症当事者と家族それぞれの交流会

対象者 若年性認知症当事者と家族及び支援者など（申し込みは裏面へ！）

ファシリテーター

○中村益子 さん（福岡県認知症介護指導者、
若年性認知症本人や家族のサロン「さろ～んパス」開催者、
令和3年度 第2回地域福祉セミナー講師）

申込み 電話・ファックス・メールなどにてお申し込みください。

参加費 無料

主 催 社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

共 催 認知症の人と家族の会直方、飯塚市社会福祉協議会



赤い羽根共同募金配分事業

第21回 男性介護者のつどい

「色々な話題があっていい時間を過ごせた」
「自分の気持ちを見直すことができた」
「介護者にも笑顔が必要」
「実際に介護経験のある方と話をすることができてよかった」
「同じ境遇や経験豊かな方の話は非常に参考になる」
「聞くこと、話すことで気持ちが楽になる」



※これは、これまでの男性介護者のつどいでの会話の一部です

男性介護者のつどいは、介護者（経験者）が参加し、同じ立場でお話しをすることで、今日を生きる力を共有する場です。

- と き** 令和3年 10月9日（土） 13時～15時
- ところ** 直方市中央公民館 4階 第4学習室
（直方市津田町7-20）※裏面参照
- 対象者** 男性介護者の方（奥様やご両親などを介護している方、もしくはその経験をされた方）
- 内 容** ミニ講話と意見交換会
ミニ講話：「認知症になっても大丈夫」
講師：男性介護者と支援者のつどい
全国ネットワーク九州ブロック世話人
下島 康則（シモジマ ヤスノリ）さん
（ミニ講話の後に、参加者同士でお話を行います。）
- 申込み** 電話・FAX・メールなどにてお申し込みください。
※申込用紙は裏面参照
- 参加費** 100円
- 主 催** 社会福祉法人 直方市社会福祉協議会
- 共 催** 認知症の人と家族の会直方



この事業は、赤い羽根共同募金の助成を受け実施します。

第22回 男性介護者のつどい

「色々な話題があっていい時間を過ごせた」

「自分の気持ちを見直すことができた」

「介護者にも笑顔が必要」

「実際に介護経験のある方と話をすることができて
よかった」

「同じ境遇や経験豊かな方の話は非常に参考になる」

「聞くこと、話すことで気持ちが楽になる」



※これは、これまでの男性介護者のつどいでの会話の一部です

男性介護者のつどいは、介護者（経験者）が参加し、同じ立場でお話しをすることで、今日を生きる力を共有する場です。

と き 令和3年 1 2 月 1 9 日（日） 13時～15時

ところ 直方市中央公民館 4階 第4学習室
（直方市津田町7-20）※裏面参照

対象者 男性介護者の方（奥様やご両親などを介護している方、もしくはその経験をされた方）

内 容 意見交換会

少人数のグループに分かれて、参加者同士でお話しします。
ご自身のことをお話ししたり、経験者の話を聞いたりするフリーストークです。

申込み 電話・FAX・メールなどにてお申し込みください。
※申込用紙は裏面参照

参加費 100円

主 催 社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

共 催 認知症の人と家族の会直方



この事業は、赤い羽根共同募金の助成を受け実施します。

